

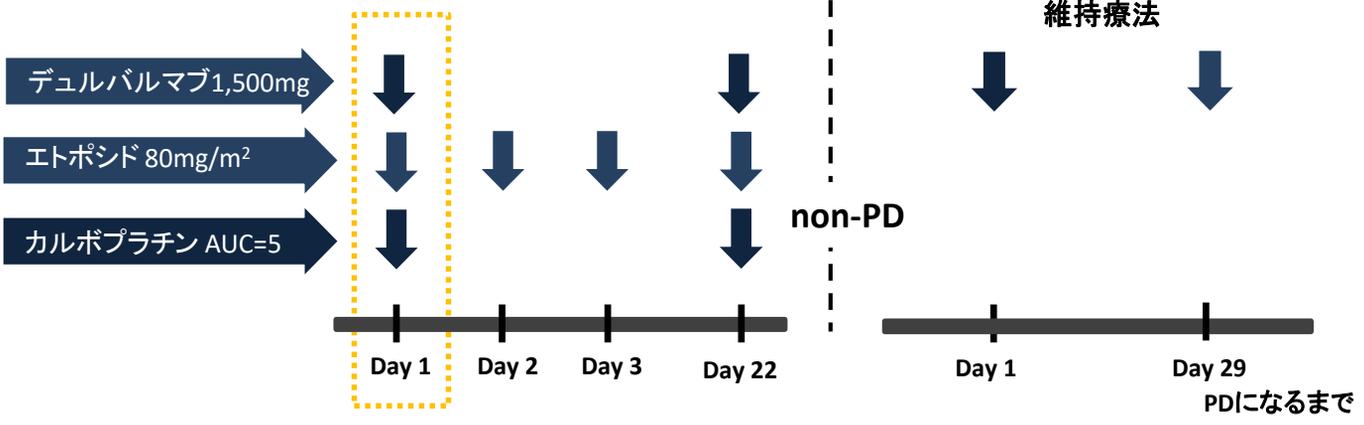
カルボ⁵ + エトポ⁸⁰ + デュルバ + FPD療法(標準)

レジメン概要

投与は3週毎を1コースとし、4コース行う。
4コース施行後、non-PD例では維持療法として
デュルバルマブ1,500mgを4週毎に行う。

PVCフリー
フィルターあり
(day1のみ)

催吐リスク: 中等度
細胞障害性分類
カルボ: 炎症性
エトポ: 炎症性
デュルバ: 非壊死起因性



処方

Day 1

Rp 01 点滴静注
生食 50mL1V
ルートキープ 残廃棄可
*フィルター付きのルートを使用
10mL/h

Rp 02 点滴静注
生食 100mL1V
イミフィンジ 1,500mg 130mL/h
体重30kg以下では、20mg/kgの投与量の調節
が必要。原則、体重30kg以下の患者に本レ
ジメンは使用しない。

Rp 03 点滴静注
生食 50mL1V
500mL/h

Rp 04 点滴静注
パロノセトロンバッグ 0.75mg1袋
デキサー注3.3mg
アロカリス注235mg
120mL/h

Rp 05 点滴静注
5%ブドウ糖 500mL1袋
エトポシド 80mg/m² 500mL/h

Rp 06 点滴静注
5%ブドウ糖 250mL1袋
カルボプラチン AUC=5 250mL/h

Rp 07 点滴静注
生食 50mL1本
ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去

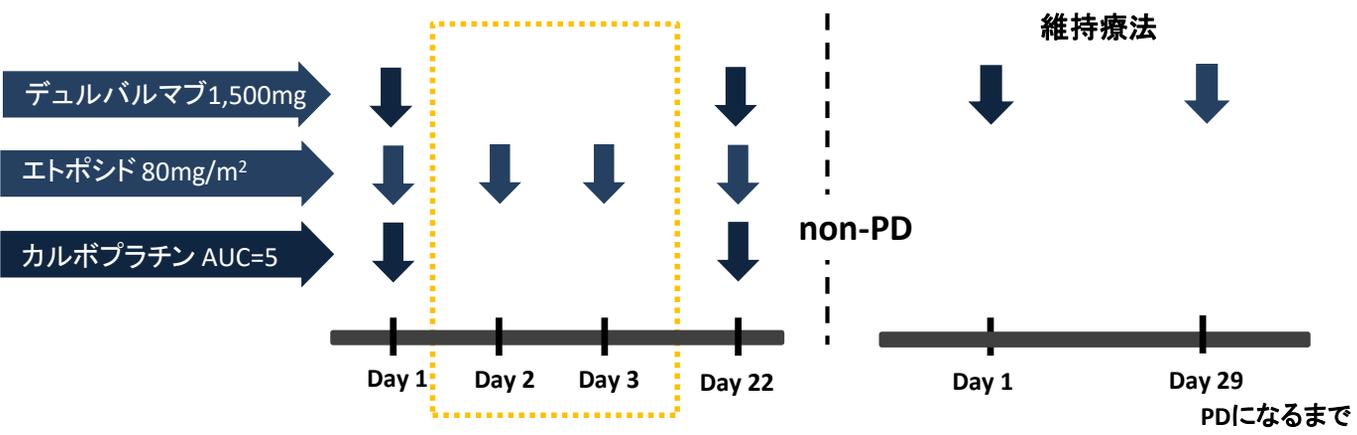
カルボ⁵ + エトポ⁸⁰ + デュルバ + FPD療法(標準)

PVCフリー
フィルターなし

催吐リスク: 中等度
細胞障害性分類
カルボ: 炎症性
エトポ: 炎症性
デュルバ: 非壊死起因性

レジメン概要

投与は3週毎を1コースとし、4コース行う。
4コース施行後、non-PD例では維持療法として
デュルバルマブ1,500mgを4週毎に行う。



処方

Day 2.3

Rp 01 点滴静注
生食 50mL 1本
ルートキーブ
10mL/h

Rp 02 点滴静注
生食 100mL 1本
デキサート注 3.3mg
500mL/h

Rp 03 点滴静注
5% ブドウ糖 500mL 1袋
エトポシド 80mg/m² 500mL/h

Rp 04 点滴静注
生食 50mL 1V
ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去